



各位

2020年2月3日

会社名 株式会社 アルメディオ
 代表者 代表取締役社長 高橋 靖
 (コード番号 7859 東証第二部)
 問合せ先 取締役 経理・情報開示・IR担当
 関 清 美
 電話番号 042-511-0500 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年5月14日に公表しました2020年3月期(2019年4月1日～2020年3月31日)の通期連結業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年3月期通期の連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,190	百万円 115	百万円 111	百万円 66	円 銭 5.62
今回修正予想(B)	2,670	15	12	△52	△4.11
増減額(B-A)	△520	△100	△99	△118	
増減率(%)	△16.3	△86.5	△88.5	—	
(参考)前期実績 (2019年3月期)	3,109	△62	△50	△506	△48.04

2. 修正の理由

断熱材事業において、今期の受注を予定していた国内の工事案件の一部が翌期に売上高を計上する可能性が高くなりました。また、ナノマテリアル事業において、量産販売が翌期になる見通しとなりました。これに伴い、各事業セグメントの受注状況及びその確度を見直した結果、アーカイブ事業においては、米国への販売計画が下回る可能性が高くなり、売上高が98百万円減少する見込みとなりました。断熱材事業においては、顧客都合による工事案件の受注の時期ずれや、中国の太陽光発電補助金制度の見直しの影響により一部製品の売上が販売計画を下回ったため、売上高が295百万円減少する見込みとなりました。また、インダストリアルソリューション事業においては売上高が25百万円減少、ナノマテリアル事業を含むその他事業においては、売上高が102百万円減少する見込みとなりました。一方、セグメント利益については、業務効率の向上や販売費及び一般管理費の削減を図ったものの効果が及ばず、アーカイブ事業が22百万円減少、断熱材事業が25百万円減少、インダストリアルソリューション事業が18百万円減少、その他事業が50百万円減少する見込みとなりました。

以上の結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を下回る見通しとなりました。なお、親会社株主に帰属する当期純利益については、税効果会計に関する見積りの影響等により変動する可能性がありますので、重要な影響を与える新たな事象が発生しましたら速やかに公表いたします。

当社といたしましては、今後とも更なる企業価値の拡大並びに利益の最大化に努めるべく、引き続き尽力してまいります。

(注) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上